



# わたす人またすねて

## 東北で受け継がれる

## 「伝統」「文化」「誇り」を受け継ぎ、

## 次世代へとバトンを「わたす」人たち

その地に古くから伝わる伝統。時代の変遷によって生まれた文化。東北各地に受け継がれているその土地ならではの誇り。伝えていく世代と、受け継いで日々汗を流す世代の皆さんを「わたす日本橋」も応援しています。

### 福島県

#### フラダンスが育むこころ

県立いわき湯本高等学校フラダンス部  
[Weihna Mahalo]  
平商業高等学校フラダンス愛好会  
「平商 Mahalo」

「フラシテイいわき」を掲げ、映画『フラガール』でも一躍有名になった福島県いわき市。2011年から



続き、東日本大震災によって緑ができた市外の高校からエントリされる「フラガールズ甲子園」をひとつの目標に掲げ、日々練習に励む高校生たちがいます。先輩たちの踊りに感動し、自分たちも笑顔で届けたいとフラダンスを始めた彼女たちは、技術面の向上はもちろんですけど「大切な人を想い、感謝の気持ちを含める」ということを大切に練習しています。「踊るこころを広めたい」という想いでスタートしたこの甲子園は、着実にその心を育む場となっている。彼女たちの笑顔が、その証です。



練習でも大切な人を思い、笑顔を大事に取り組んでいます。平商業高等学校フラダンス愛好会(左)といわき湯本高等学校フラダンス部(右)の皆さん。

### 秋田県・男鹿市

#### 匠の演奏！なまはげ太鼓

県立男鹿海洋高等学校 郷土芸能部



大晦日の晩に集落の家々を訪れて怠け者を戒しめる、男鹿の伝統行事「なまはげ」。なまはげに和太鼓を

融合させた創作郷土芸能が「なまはげ太鼓」です。男鹿海洋高等学校には、全国で唯一、なまはげ太鼓の部活動があります。練習は平日放課後の1時間半。基礎打ちのトレーニングを行ってから曲練習に入ります。響き渡る太鼓になまはげのパフォーマンスが加わることで、迫力満点！部員たちは「みんなが合わせるのは難しいけど、そろそろうれしい」「公演でお客さんに拍手をもらうことが何よりのやりがい」と話します。これからも、なまはげの魅力や迫力を多くの人々に伝えていきます。(取材：小島慎子)



郷土芸能部の部員たち。左から三浦さん、小林さん、安田さん、吉田さん。



#### 旬の幸

6〜7月に旬を迎えるさくらんぼ。明治初期にヨーロッパやアメリカから日本に導入され、さくらんぼ栽培に適した気候の山形で盛んに栽培されるようになり、山形のさくらんぼ生産量は日本で、全国の約7割を占めています。代表的な品種は「赤いルビー」とも呼ばれる佐藤錦。大粒で食べごたえのある紅秀峰も人気があります。



#### 語りわたす「つんぶくだるま」

昔々、山形の須川付近のお寺で、椀の下に祀られていた達磨様があった。村の子供たちはよく達磨様と遊んでいたが、ある日川岸に置き忘れてしまい、達磨様は「つんぶく、つんぶくと流され最上川に出て、やがて酒田まで流れ着いた。拾った人が持ち帰って祀っていたが、ある春の晩、達磨様が夢に出て「流行り病を治したいのでお達磨の椀のある村へ連れて行ってください」と言ったので、村に返しに行ったところ、流行り病はたちまち治った。置き去りにされても村を救った「つんぶくだるま」の伝説は「お達磨の椀公園」を通じて語り継がれている。

### 注目 防災の取り組み

## 山形の風土と災害、山形の文化と共助

最上川と共に生きる山形 庄内・最上・村山・置賜と、大きく4つのエリアに分けられる山形県。そして、それらを繋ぐのが、山形の「母なる川」として愛されてきた一級河川、最上川。しかし、近年山形県では、令和元年東日本台風を皮切りに大雨による水害が続いており、各地で土砂災害や洪水が多発。各市町村でも、今後に向けた災害対策を強化しているところだ。



本紙の取材中、村山エリアの自治体職員の方とお会いすることができました。最上川が氾濫すると、冠水によって浸ってしまう場所が多くあり、いかに予測段階から命を守るかが肝心。また、警戒すべきは川だけではなく、寒河江市の高瀬山周辺には、縄文時代に起きた大地震の痕跡と見られる、要警戒の活断層も。今年元旦に発生し、県内でも最大震度4を観測した能登半島地震を受け「まだまだ想定外がたくさんある」と感じたそうです。

#### 芋煮会文化が支える「共助」

想定外を少しでも減らすこと、そして二次災害を減らすこと。それには、日頃からの助け合いが欠かせません。山形県民に根強くある「芋煮会」の文化は、屋外で協力し合って作るもの。大鍋で一度に大量のお湯を沸かすこともでき、実際、災害時の炊き出し等での実績も多くあり、芋煮会を通じた防災を考える活動も開催されています。地域の文化に愛着を持って続けていくことも、共助の力を育むひとつの防災なのかもしれません。(取材：大場黎亜)



みんな大好き芋煮会。河原や広場など至る所で開催される。

#### 近年の主な自然災害

2019年6月 山形県沖にて地震発生。鶴岡市にて震度6を観測。住家半壊11棟、負傷者28名。

2019年10月 (令和元年東日本台風) 置賜地方を中心に台風第19号による記録的な大雨。負傷者3名。全半壊8棟、床上床下浸水164棟、河川氾濫や法面崩落多数。

2020年7月 大雨により最上川中流で河川氾濫が発生。負傷者1名、全半壊63棟、床上床下浸水705棟、田畑多数冠水。

2022年8月 東北全域の大雨前線の通過により行方不明者1名。全半壊55棟、床上床下浸水696棟、土砂災害、橋梁崩落、道路冠水、農地流出。ため池決壊など被害が多数発生。

## 左沢線で山形盆地を走る

「左沢」と書いて「アテラザワ」と読む。朝夕は大勢の通勤通学客で賑わうJR左沢線。地元では愛着を込めて「ザワ線」と呼んでいます。北山形駅～大江町左沢駅間全長24.3km、片道35分と短い路線でありながら、車窓からの眺め、文化、食、絶景を存分に楽しむことができます。



## ぶらり 寄り道旅

一山形県北山形駅～左沢駅一

終点、大江町の左沢駅を下りて登り続けること25分、左沢橋山城史跡公園展望台に立つとその絶景に目を見張ります。曲がりくねった最上川、アーチ型の橋、城下町、その向こうに広がる蔵王連峰。人と自然と歴史が混ざり合った景色。いろんな絶景を見てきた人もここは必見。地元で日本一公園と呼ばれているのも納得。



**羽前高松駅**から徒歩25分、東北唯一といわれる広大な巨剝、**本山慈恩寺**、荘厳なお寺の雰囲気反してお寺の皆さんはともフレンドリー。貴重なお寺の鐘をつくこともできます。表情豊かな十二神将はじめ、重文級の仏様達もたくさんいらして仏教美術好きにはたまらない。

**本山慈恩寺**★

**チェリーランド寒河江**★ JAさがえ西村山さくらんぼ会館

**左沢橋山城史跡公園**★

**旧柏倉家住宅**★ 羽前長崎駅が最寄りの旧柏倉家住宅は江戸時代、隆盛を極めた大庄屋のお屋敷。

**むら熊**★

**文翔館**★ 北山形駅下車。旧県庁舎の文翔館。全国に数あるレトロ建築の中でも屈指の豪華さ。現在は山形県郷土館となっていて、その美しさを内外からじっくり堪能できます。

**着衣姿のひんとも微笑ましい北山形駅前小使小僧**★

**寒河江名物 手作りアイス&ジェラート**

「おいしくて楽しい味を」と作られたアイスは、その数なんと220品。JAさがえ西村山さくらんぼ会館にある人気の「手作りアイス」店。ごま、抹茶といった定番とともに、つや姫(米)、さくらんぼ、枝豆といった山形ならではのジェラートが目玉です。今から約30年前、当時のスタッフが自分達の地域で採れたおいしいモノを生かしたアイスを作ろうと思い立ち、ユニークな商品が次々と生まれたのだそう。加藤さん、鹿野さんは「今は47都道府県とのコラボアイスづくり進行中です」とうれしそうに話します。

所在地：寒河江市大字八幡字川原 919-6 JAさがえ西村山さくらんぼ会館 (チェリーランド寒河江敷地内)